YAWARAGI NEWS
# 和
やわらぎ

発行所
株式会社斎藤工務店
TEL 0236 (81) 7558
FAX 0236 (81) 7559
発行責任者
斎藤恵美子

## 厳しい予想の中
# 21世紀の住まいづくりへ

住まいの新世紀 FPの家

昨年中は皆々様には、格別なるご支援、ご厚情を賜り大過なく過させていただき厚くお礼申し上げます。

当社も一昨年は会長の死去、昨年は武田取締役の逝去等があり、社内の組織にも大きな変化がありましたが、今後社内の充実を図り頑張って行きたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

最近の世の中も大変な変化が出て来ております。バブルの崩壊に続き、円高、規制緩和に伴い価格破壊等のことばが多く聞かれます。

天候も冷害、猛暑、三陸はるか沖地震に続き、阪神大震災等大変化が起きております。

景気は除々に回復しているといわれておりますが、まだまだ厳しい感じがあります。我々建築業界も益々厳しさが増すと考えられます。住宅業界も新世代木造住宅等を建設省でスタートし住能向上を図りつつ、価格も30%ほど安くしようという計画である様です。

輸入住宅、ハウスメーカーの低価格商品による販売功勢など今後更に厳しさを増すことが予想されますが、当社は以前から地域に密着した住まいづくり、お客様が求めているもの、納得してもらえる健康で快適な住まいづくりを目ざし、力を入れてきました。高断熱、高気密、省エネ住宅のFP工法住宅をこれまで13棟完成させて戴き、お住まいされているお客様より真の住まいの快適さに大変な絶賛を戴いております。

21世紀に向けた新しい住まいとして、これからも力を入れて参りたいと思います。今後とも皆様方のご協力を戴きながら社員一同頑張って参りたいと存じますので、尚一層のご支援、ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。

最後に皆々様のご健勝をお祈り申し上げます。

社長　斎藤和明

## 隠れた部分に細心の注意

山形市陣場三丁目　菅井俊英

昨年末に、建築から三十二年再三の増改築を行って来ておりましたが、風呂場の脱衣所が無いことと、北側部屋の湿気が多く建築業が全部使用不可能となり、斎藤工務店の社長さんへ相談した所現在は高断熱、高気密性の高いFPの家の説明を受けました。

新築に当り家族構成部屋数、人数等を考え再三設計変更を重ね最終的に年寄、幼児が同居と言うことで、省エネ工法のFPの家でお願いすることになりました。

今年五月から古い建物の解体作業、続いて建設が始まりました。特に今年の夏は近年にない猛暑の中で斎藤工務店他業者の皆さんが一生懸命完成へ努力して戴き感謝しています。建築中、近くと言うこともあり、家族が散歩がわりに、毎日進行状況を見ておりましたが人に気づかれない隠れた部分に細心の注意を配り完成時には普通の建物との違いが見分けることが出来ない何気無い仕事、感謝するばかりです。

十月初旬の完成、十五、十六日内覧会を終了し二十三日引越、約二ヶ月間実際生活をして見ますと説明の通り室温二十度～二十三度にセットすると家全体、どの部屋、廊下、トイレ、風呂場等温度差を感ずることがありません。特に中二階全部を居間、台所と広く使用のためドアー等を使用せず建築を行ったため寒いのではと考えておりましたが、全々心配いらず、快適、家族団繋の場となっております。又知人からは全室暖房では燃料代も大変ではと言われますが高気密、高断熱省エネルギーと実証されています。

これからは、この様な建築が見直されることと思われます。我が家は、寒さ知らずで、クリスマスへ孫二人の誕生日し正月を待っています。

遅くなって申し訳ありませんでした。十一月にいただいた原稿です。

## 情報センサー

斎藤工務店が住宅の見学会

◉斎藤工務店（山形市、斎藤和明社長）は4、5の両日、山形市中桜田2丁目1番地で住宅現場見学会を開催する。

完成した住宅＝写真＝は高断熱、高気密工法で施工されたFPの家。1階105平方㍍、2階54平方㍍。断熱材にウレタン材を使用し、複層ガラスサッシ、断熱ドアなどで全室空調システムの効果を高

3/4 山形新聞

## 阪神大震災＝一日も早い復興を。。。

(株)金山木材　常務取締役　小野寺侑三

山形県内の住宅着工数は、平成六年四月から十二月迄八千五百戸と高水準となっており平成七年度は一万戸になるのではないかと言われております。大変うれしい予想ではないかと思われますが、ここで阪神大震災についてふれさせて頂きます。被害に会われた方々にお見舞申し上げます。木造の家屋の倒半壊も多くあったようです。その中で倒半壊の家屋は、昭和三十年代の建物が多く見られ、建築基準法が改正された昭和四十五年以降の建物は[illegible]の中では被害を免れています。

倒壊の原因としては、老朽化[illegible]い通し柱の細い三寸角[illegible]金具[illegible]使われていないなどがあるようです。こういう点からみると、木造住宅もある程度地震には強いことを実証されたのではないかと思われます。地震発生当日から、コンパネが値上りし、品薄状態と言われております。被災地の区画整理などが終わり建築が始った場合には建築資材料等、木材と含めて影響がでてくるのではないかと思われますが、いずれにしても一日も早い復興を願うものであります。

FP工法を使用

### 我社自慢の施工例

完成いたしました。

斎藤賦一郎様邸宅 山形市陣場一丁目

鈴木　勝様邸宅　山形市大字志戸田

結城宗雄様邸宅　天童市原町甲

佐藤昌宏様邸宅　山形市宮町一丁目

### 耐震性強化に関心

金沢でFP全国大会

第四回FP（木軸断熱パネル工法）グループ全国大会＝写真＝は八日、金沢市の金沢全日空ホテルで約七百三十人が参加し開かれた。事例発表の中で耐震性を強化する住宅についての報告があり、参加者たちの注目を集めた。

青森県の住宅会社が昨年十二月に起こった三陸はるか沖地震での住宅の倒壊状況を報告し、耐震性を強めるため補強材の採用や床のパネル化、壁が少ない和室を圧縮するなど要点を指摘した。

七ブロックそれぞれが活動方針や決意表明などを行った。

3/9 北國新聞
社長と常務が参加

山形市　吉野宿集会所

### 住宅見学会開催

── 新年会　挨拶する斉藤社長 ── 斉藤忠夫様邸宅　山形市中桜田二丁目

### 編集後記

やわらぎをお届け致します
発行が大変遅れてしまいましたこと、お詫び申しあげます。原稿をお寄せ頂きました方々にはご迷惑をおかけ致しましたことをお詫び申し上げます。